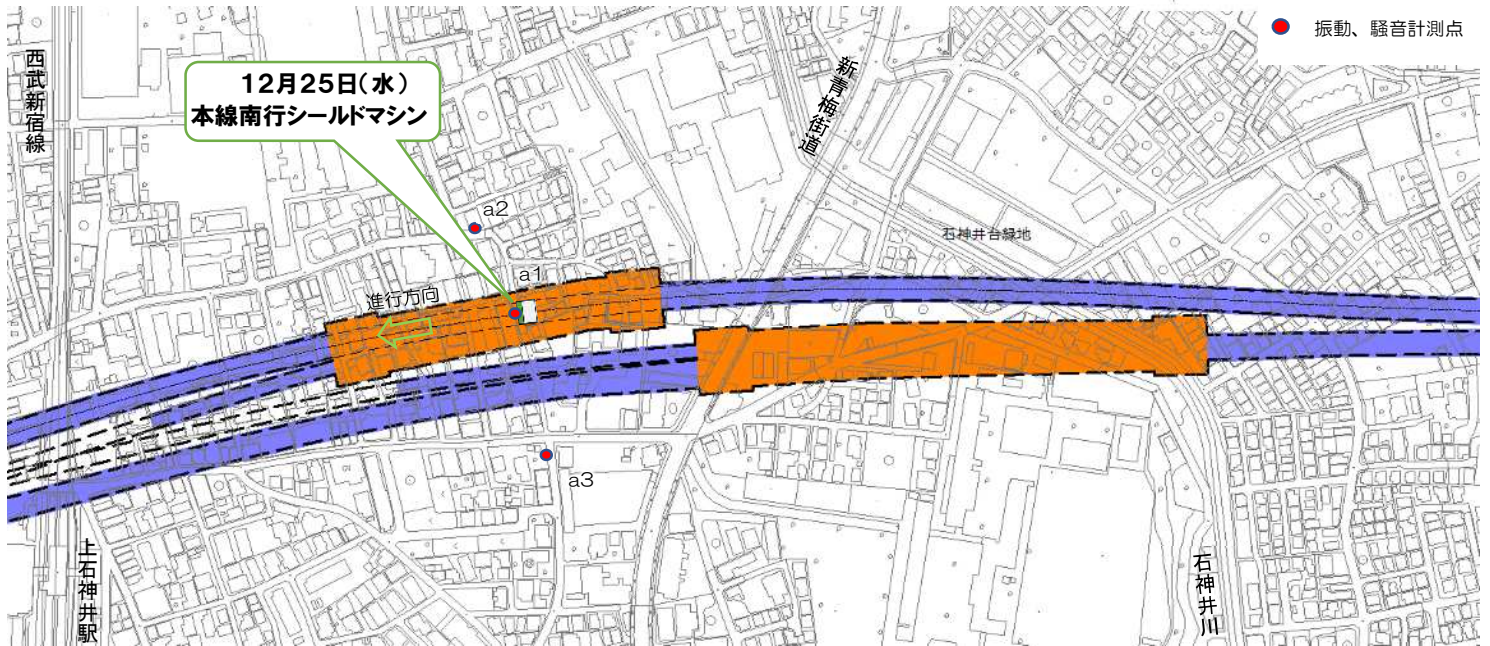


東京外かく環状道路 本線トンネル（南行）大泉南工事
振動・騒音計測結果のお知らせ

【シールドマシン位置図】



【12月25日（水） 8：00～22：00 振動・騒音計測結果（確定値）】

	a1			a2			a3		
	停止中 最大	掘進中 最大（昼）	掘進中 最大（夜）	停止中 最大	掘進中 最大（昼）	掘進中 最大（夜）	停止中 最大	掘進中 最大（昼）	掘進中 最大（夜）
振動レベル L ₁₀ (dB)	46	46	—	56	55	—	46	43	—
騒音レベル L _{A5} (dB)	67	67	—	66	68	—	68	66	—
低周波レベル L ₅₀ (dB)	68	62	—	※12月25日(水)は19時以降の掘進はしていないため、 夜間の測定は行っていません。					
低周波レベル L _{G5} (dB)	78	78	—						

* 振動レベル、騒音レベル、低周波レベルの測定はシールドマシン通過時にその直上付近で実施しています。計測点はシールドマシン中心および影響範囲端部を基本とし、事業用地や公道などで実施しています。

* 上表は、特異値（例：大型車両通過に伴う振動、緊急車両サイレンなど）を除外した数値を示しています。

* 昼…19時まで 夜…19時以降

【振動レベルL₁₀】 振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値をL₁₀と表します。

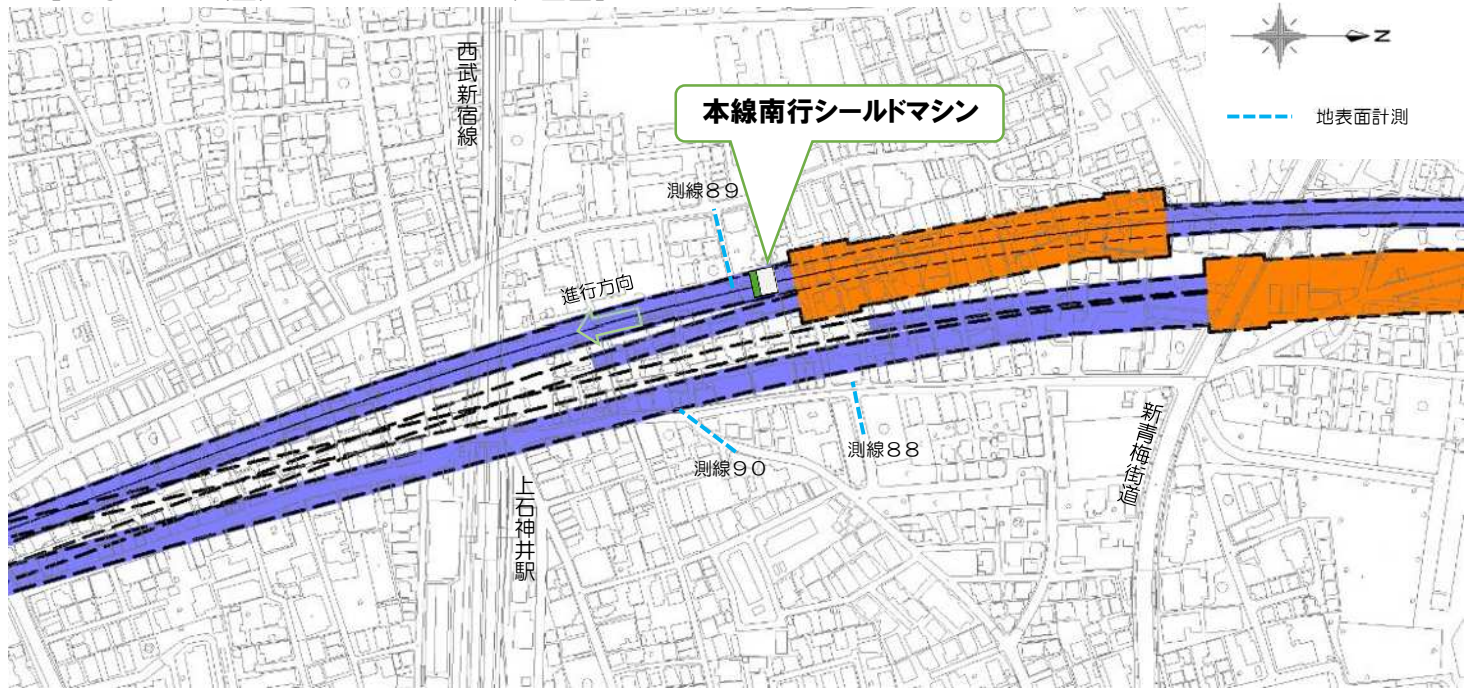
【騒音レベルL_{A5}】 騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値をL_{A5}と表します。

【低周波レベルL₅₀】 1～80Hzの周波数範囲内をある時間測定したとき、全測定値の中央値をL₅₀と表します。

【低周波レベルL_{G5}】 1～20Hzの周波数範囲内をある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値をL_{G5}と表します。

東京外かく環状道路 本線トンネル（南行）大泉南工事
地表面計測結果のお知らせ

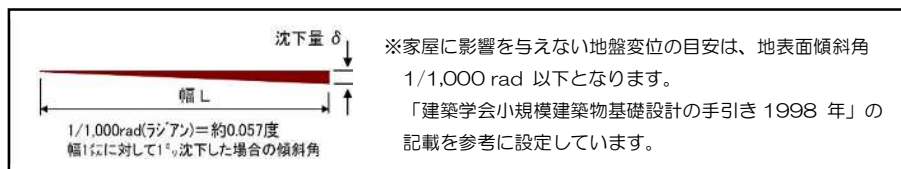
【2月21日（金） シールドマシン位置図】



【2月21日（金） 地表面変位計測結果】

測線	基準日	最大傾斜角 (rad)	最大鉛直変位 (mm)
測線88	令和6年9月12日	0.1/1,000	-2
測線89	令和6年9月30日	0.1/1,000	+2
測線90	令和6年10月2日	0.1/1,000	-1

※最大傾斜角は、計測地点間の傾斜角の最大値を示しています



※家屋に影響を与えない地盤変位の目安は、地表面傾斜角
1/1,000 rad 以下となります。
「建築学会小規模建築物基礎設計の手引き 1998 年」の
記載を参考に設定しています。